

クリントートFX(0.15mm厚)の 実用性確認試験



JAしずない

中道 雅則



クリントートFX 展張状況



クリントートFX 展張状況

試験目的

クリントートFX(0.15mm厚)の実用性の確認

試験作物 及び品種

きゅうり、ミニトマト

試験資材 及び数量(規格)

クリントートFX(0.15mm×960cm×51m)

慣行資材

スカイコートテキナシ5、ダイヤスター、コーティング5

栽培方法

定植日

2月下旬(きゅうり)
7月下旬(ミニトマト)

資材使用期間

11月下旬～

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

作業性については、慣行品と比べ問題なかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育状況、収穫量については、慣行品と同様問題は無い。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

慣行品と比べ、問題なし。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

資材の強度については、中継ぎ加工が不安であったが、今のところ問題なし。

今後についても注視していくつもりである。

(5)促成・抑制効果について

慣行品と比べ問題はなかった。

(6)保温効果について

慣行品と比べ問題はなかった。

(7)雑草・病害虫の発生について

慣行品と比べ問題はなかった。

モニター感想

中継ぎ部分が不安であったが、現在のところ問題ない。この地区は張りっぱなしで7～8年使用するため、今後も問題ないか確認していく。

作業性・温度・強度等は慣行品と違いないと判断しており、安心している。

JA担当者の感想(資材課 原課長)

今回の試験で、現行品と比較し、問題なく使用できることがわかった。

テキナシ5やダイヤスターと比べ、価格優位性がある商品のため、販促しやすいと考える。

展張1年目のため中継ぎ部分は問題ないが、当地区は長期間展張するので、今後も問題ないか確認していく。

今後の使用について

継続して使用したい。

将来希望する資材について

ハイブリットボイラー。営農コスト(価格・作業性)を低減できる資材